

あなたと共にあゆむ



いまへの

議会  
だよ

No. 138

2004年2月5日発行

[12月定例会]



## 今別川で羽を休める白鳥

- ◇12月議会のあらまし 条例・予算・専決・その他 ..... 2
- ◇一般質問「冷害被害状況と支援対策について」他（4名） ..... 3～7
- ◇臨時会 議会のうごき・ざんじきゅうけい ..... 8







嶋中 忠也 議員

# 町財政悪化の検証を

質問

町長は就任以来、逼迫した財政建て直しに奔走しておりますが、選挙時の公約実現が進んでいないように思われます。そこで、財政が悪化した原因がなにか徹底した検証がなされたのか伺います。

長弁 町答

経常収支比率のついて、具体的な説明を求めます。

経常収支比率の上昇要因としては、交付税の減額、

景気の後退による町税の減収等が重なったことによるものです。また、他の自治体との比較では施設の直営、職員の適正配置等の問題があり、これらの是正が経常収支比率引き下げと財政再建の緊急課題であると考えております。

社会資本の整備については、町民のために何をやらなければならぬか選択していくことが最も大事であり、そのために起債を増やすと財政を圧迫することになるので、大変難しいことであると認識しております。町民の生活安定と向上を図ることを基本に財政運営を進めていきたいと思っております。

おりますので、ご理解とご協力をお願いします。 役弁 歳入への対応としては、未収金対策として徴収スタッフの会議を開き、取り組んでいるところでありますのでご理解願います。

助答

# 消防行政の抜本的改革を

質問

厳しい財政の中で、消防行政の抜本的改革が必要ではないかと思うものです。広域消防が常設されており、町の人口・世帯数の減から、町の12分団の消防体制を改革する考えがないか伺います。

長弁 町答

消防団については、団員の減少に伴い中隊の改編などで効率を図っております。今後は分団の統廃合の問題も出てくると思いますが、広域消防とのバランスを考慮して対応して参りたいと考えています。

待遇改善については、財政事情から思うようにできませんが、出動に際しては団員の負担を軽減するような方策を取っていききたいと考えています。

質問

町有財産については売却する考えに変わりがないか伺います。ただし、売却が遅くなるとその分、町の損失となるのではないかと。安く売却したとしても買った人から固定資産税が町に入り、同時に町では維持管理費がかからなくなるわけですから、早目の売却を実行していただいきたいと思っております。

長弁 町答

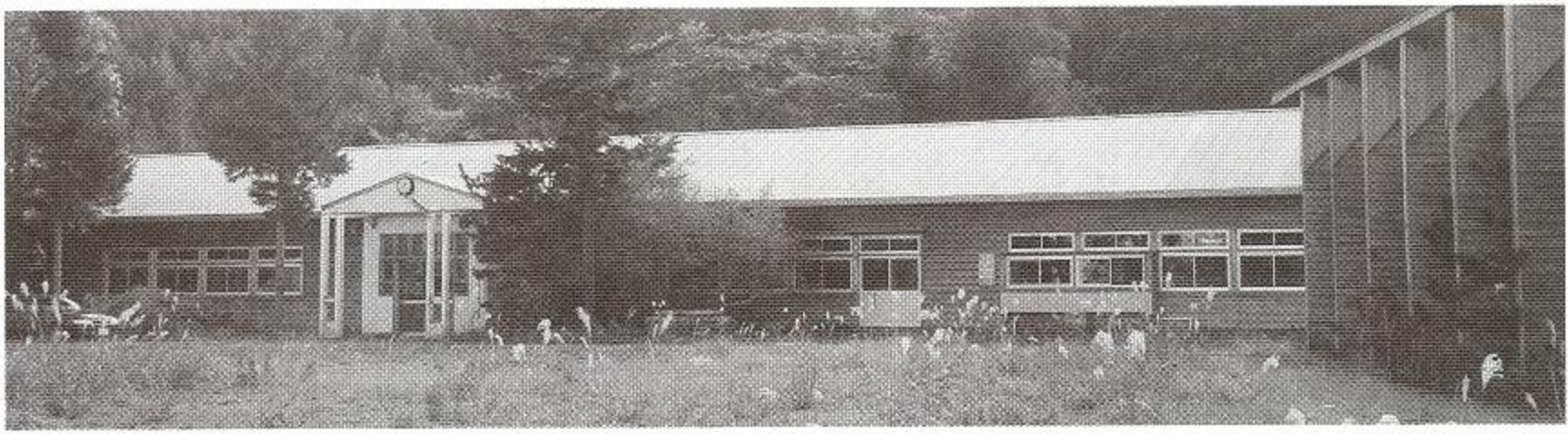
町有財産の処分はできるものから実施しておりますが、大きな問題は学校の跡地の処分であります。いろいろ検討する課題もありませんが、不用財産は処分し歳入に組み入れる考えに変わりはありません。

# 町有財産売却は 早期実施を

保育料の未収金などかなりの歳入不足となつていするため、収納対策を強化すべきではないか。歳出削減にも限度があり、安定した歳入を確保するにはどうすべきか考える必要があると思ひます。また、財政健全化と社会資本の整備の整合性に

活動ばかりではなく、遭難者の捜索・救助という大きな任務と責任を負っています。多くが通常の勤務を休んでの活動であります。そこで、団員の出勤手当等の待遇改善を図る必要があると思ひますが、町長の所見を求めます。

町有財産の処分はできるものから実施しておりますが、大きな問題は学校の跡地の処分であります。いろいろ検討する課題もありませんが、不用財産は処分し歳入に組み入れる考えに変わりはありません。



▲ 閉校となった開智小学校



明田 平苗 議員

# 水稻の作況指数と今後の対応は

## 質問

今年の津軽地方の作況指数53とあるが、これに対する町の認識と今後の対応について伺うものです。

冷害による被災農家が減収分を乗り越え、来春への生産につなげる意欲を持たせることが、国、県、町の助成であると思っております。そこでわが町ではどのような支援策をとり、国、県と連携した対策はどのようなものか具体的な考えを示していただきたい。

また、共済金の支払い見通しについて県と協議がなされているのか、さらに支払いが遅れた場合の対応についてはどのようなことを考えているのか伺います。

## ▲ 水稻現地調査



### 長井 町答

水稻の作況指数53については、最終的にはさらに低くなるとの感じを持っており、農家にとって大きな痛みになることが心配されます。

## 質問

農家の支援策としては、共済金の早期支払いをお願いしていますが、遅れた場合の対応については今後の課題であります。また、種子確保対策にも取り組んでいるところでありますのでご理解願います。

大川平地区で生活排水が農業用水路に入って困っている状況の話をしたところ、理解は示したものの財政的に今は整備が無理であるとの答弁であった。財源を伴うような事業は、時期がきたら計画どおり取り組めるように今から検討しておく必要がある。どのような形で整備していく考えか示していただきたいと思うも

のです。財政が厳しいから何も出せないかと逃げるのではなく、資金のかわらないものを取り入れていくことが必要ではないか。農業に関しては、冷害に左右されることのない作物の栽培で産地化をめざしていくなど、町民に夢を持たせる活力ある政策を示し、やる気のある方々を指導していくことが大事ではないかと思

## 質問

財政建て直しのため奮闘している町長には敬意を表するとありますが、公約でもある基幹産業の活性化への取り組みが遅れているのではないかと。農・漁業の再生、活性化は至難の業であることは私も承知しておりますが、基幹産業を活性化させ、町

民が意欲を持って働けば財政再建にもつながると思われま

貴重な提言であると受け止めています。財政建て直しも急がれるところではありますが、新年度予算編成では少ない予算の中で、よく話し合い、互いに知恵を出し合って将来の活性化に結びつくような施策を進めるよう取り組んでおりますので、ご理解願います。

# 夢を持たせる活力ある政策を

### 長井 町答

町民の生活を支える農林漁業の振興は町にとって欠かすことのできない重要な課題と認識しており、

### 長井 町答

農道や用水路・頭首工などは県営事業で採択できるものは県が行い、補助事業に乘せて、町の負担が少ない方法を選択して進めて参りました。残された箇所については、今後の財政計画の中で具体的な計画を立てていきたいと思っております。

農業施策に関する貴重なご提言を謙虚に受け止め、農業の担い手の育成は大事な問題でありますから、真剣に取り組む今後の政策に生かしていきたいと考えています。

# 基幹産業の活性化を

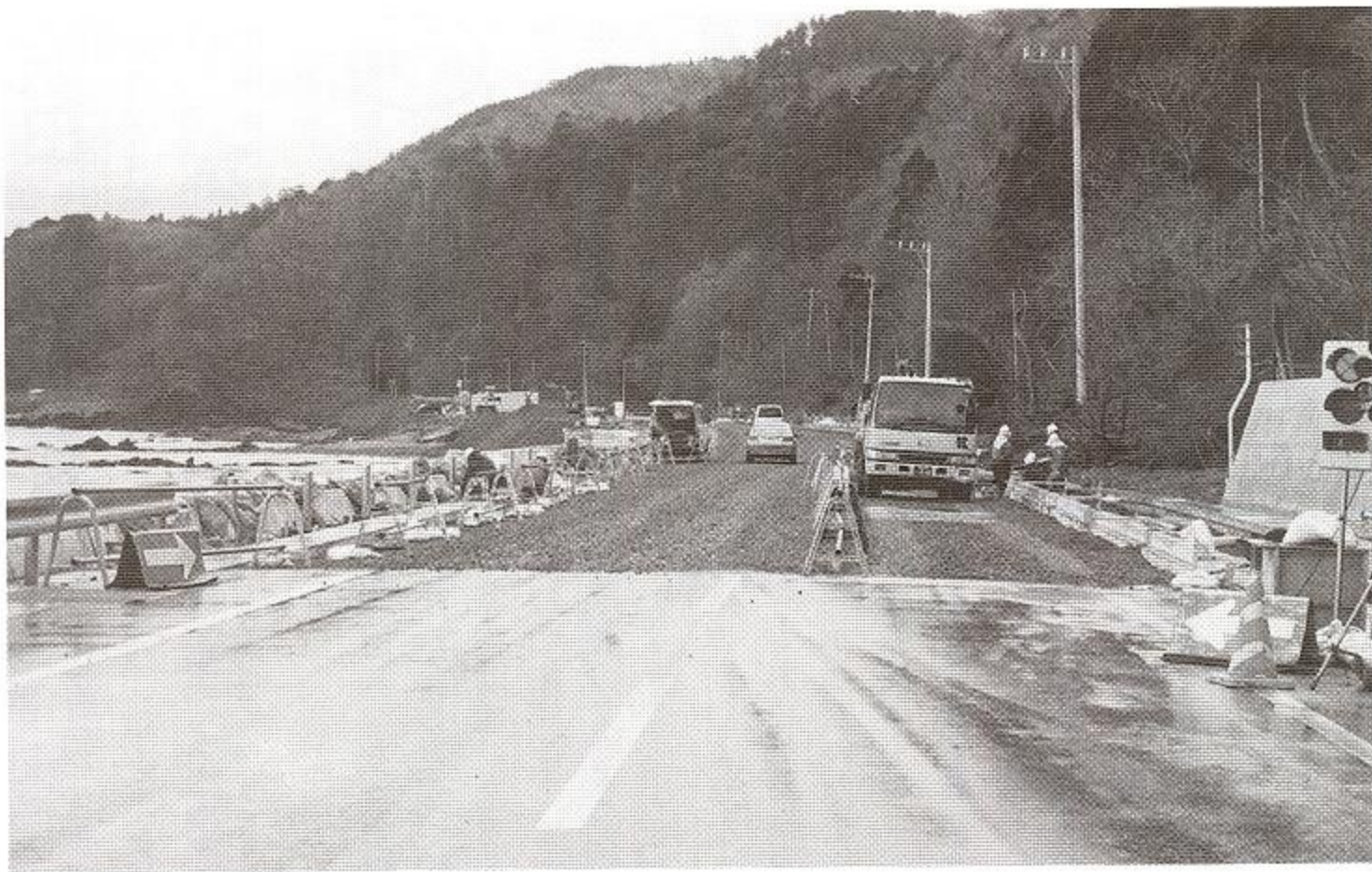


# 国道280号の道路拡幅整備を

## 質問

これまでにも道路拡幅整備については何度も質問をしているところだが、行政では関係機関への要望、陳情が強力に行われてきたのか説明を願います。

国道の拡幅の要望としては鬼泊トンネルより平館までの区間、奥平部地区、「海峡の家ほろづき」周辺のカーブ、袈月坂の



▲ 拡幅整備が進められている国道280号（綱不知地区）

また、今別駅出口に特大ミラーの設置等はできないものか伺います。

## 長弁 町答

道路拡幅については、基本的に大泊から奥平部間の拡幅を要望してきましたが、それでは相当の年数を要することから、危険箇所ごとの整備を強く要望しているところです。

東津軽郡町村会では、新幹線開業までに龍飛までの道路の整備を要望しているところですが、その中でも、鬼泊トンネル付近の改良を強く要求しておりますのでご理解願います。

今別駅前のカーブミラーについては、大きさや角度などについて調査し対処して参りたいと考えています。

# 町村合併の方向性は

## 質問

町村合併についてはさまざま議論されているところだが、5町村で合併について話し合いをしたこと

がない。悔いのない合併の方向性をたどるためには5町村による勉強会も必要と思うものである。

また、町単独の生き残り

# 庁舎建設の決断を

## 質問

この問題についても活発な議論をしてきたが、その結果を踏まえ、実現・決断するのは町長です。建設の財源確保のためには

合併による有利な起債計画が必要と思います。庁舎は町の顔であることから合併後は庁舎建設を急ぐべきと思うが、町長の考えはどうか。

## 長弁 町答

町民センター建設に向けてはいろいろ進めてきたところではありますが、町の財政を考え、今は健全財政に努めるのが先決と考えております。

## 質問

「海峡の家ほろづき」は冬期間休業と聞いているが、従業員の失業保険等はどうなるのか伺います。

## 長弁 町答

財政負担軽減のために民営化した考えはあります。ただ、ご指摘のとおり地元住民の雇用の関係などが今後の研究課題となります。

## 企画振興課長答弁

この施設は町と袈月地区の管理委託業務の形態をとっているため、従業員に雇用保険等はかけられていません。

りをかけた計画も必要と思うが、町長の考えはどうか。

## 長弁 町答

佐藤議員にお答えしたとおり、町民にとって何が一番幸せかを念頭に方向性を考えていきたいと思っております。



営計画書の作成を求められ平成14年度から18年度までの5年間の計画書を作成したところであります。現在は、職員による研究会を立ち上げ、財政再

### 合併浄化槽の設置は個人負担を少なく

**質問** 合併浄化槽設置に伴う説明会やアンケートが行われたが、これは個人負担の多い個人設置型の計画のアンケートであったよう

建の具体的な方策について研究しております。当面の再建の年限は3年をめぐりにしておりますが、難しい問題であることは認識しております。

**長弁** 合併浄化槽の設置の個人負担だけを考えると、個人負担が少ないか伺います。

**町答** 合併浄化槽の設置の個人負担だけを考えると、個人負担が少ないか伺います。

「この声が聞かれます。個人負担が多い計画では希望したくてもできないのが実情です。」

そこで、自治体が責任を持つて行う市町村設置型の計画が必要と考えます。

市町村設置型は原則としてすべての方の参加が条件となりますが、個人負担が少ないことから、参加希望者が大きく変わるものと思われま

また、合併浄化槽設置に伴い住宅の改良も必要となり、費用のめどがたないために設置を控え

### 庁舎建設計画は繰り延べを

**質問** 役場への取り付け道路の整備が進んでいるが、庁舎建設計画はどうか

この際、町民の暮らしや生活環境整備を優先させ、庁舎建設計画は繰り延べすべきではないかと思ひますが、町長の所見を伺ひます。

**長弁** 町財政が厳しい中での町民センター建設による財政の圧迫や、住民に負担をかけることは避けなければならぬと考えていま

に努め、生活基盤の整備を行い、財政難を乗り切ることが先決であると認識しております。

### 八幡町地区の流・融雪溝整備計画について

**質問** 八幡町地区の流・融雪溝の設置計画が進められて

また、冬工事となりますが交通の妨げにならないか、交通渋滞に対する配慮などが十分にできるのか伺ひます。さらに、維持管理や住民負担についての説明を願ひます。

**建設課長答弁** 八幡町地区の流・融雪溝の製品については、さまざまな改良もされておりますのでご理解願ひます。

また、冬工事となりますが交通の妨げにならないか、交通渋滞に対する配慮などが十分にできるのか伺ひます。さらに、維持管理や住民負担についての説明を願ひます。

また、冬工事となりますが交通の妨げにならないか、交通渋滞に対する配慮などが十分にできるのか伺ひます。

### 宮本 清七 議員

### 村元・山崎海岸線整備の継続性は

**質問** 村元・山崎海岸線階段式護岸整備について工事が進

**長弁** ご質問の箇所については、平成17年には完了できるものと伺ひております。

**町答** 階段式護岸整備については、平成17年には完了できるものと伺ひております。

また、請負業者が地元業者でないように見受

残りの老朽護岸につ

でも今後、関係機関へ強く要望していく考えであります。

**建設課長答弁** 施工している業者が地元業者でないことのご指摘ですが、入札の結果により業者が入っていることをご理解願ひます。

また、請負業者が地元業者でないように見受



# 町政を問う

一般質問

12月の定例会では、4人の議員が登壇し、当面する町の重要課題について町執行部の考えをただしました。その主な内容を要約してお知らせします。

ついて全職員で取り組んでいるところであり、**実効性のある財政再建計画を**

佐藤 豪 議員

## 冷害被害状況と支援対策について

**質問** 冷夏・不順天候により農作物冷害対策本部を設置し対策が行われて来たが、被害状況はどうであったのか、共済金の支払いはどのような見込みか伺います。

被災農家としては再生産に必要な優良種モミの確保が特に必要であることから、これに対する支援対策はどのように考えているのか。また、収入減となる農家への生活支援も求められるところですが、それらについての

対策はどのように考えているのか伺います。

**長弁 町答** 稲作の被害状況は、検査米の集荷状況から見ると、

春の契約数量に比べて3割程度の出荷にとどまっております。品質も大幅に等級が下がっているという厳しい結果でした。被害農家への支援対策としては、共済金支払いについて年内支払いを要望しており、種モミの補助については東郡町村長会議でも協議されているところとです。

**質問**

町長は県の意向である蟹田を中心とした5町村合併には反対を表明し、三厩村との合併の方針を掲げ働きかけをしているところであるが、三厩村との合併にメリットがあるのか伺いたい。

合併によって地域の活性化が図れるのか、合併で財政難が解決するのか、また行政サービスが向上するのかわれも疑問であり、合併のメリットはあまりないと思うが、

**長弁 町答**

町長の考えを求めます。さらに、「自立する町づくり構想」についての基本的な考えを伺います。三厩村との合併のメリットについては、行政報告会で詳細に報告してありますが、職員、議員、3役、各種委員等の削減が見込まれます。

合併特例債の活用など、三厩村との合併につきましましては慎重に対処していかなければならない課題であると認識しております。ただ、当町と三厩村とは昔から親交が深く、住民の往来も多いところとです。財政の面ばかりでなく社会的な面からも合併を検討する必要があると考えます。「自立する町づくり構想」については、合併についての協議の推移に関わらず、町単独での生き残りをかけ財政問題等に

**質問**

今別町の14年度決算で経常収支比率が101%という大変厳しい財政状況であることが明らかとなりました。こうしたことから、町では職員の11グループによる検討委員会を作り、財政再建に向けた取り組みをされていることが報告されています。

**長弁 町答**

さらに町長は18年度までに人件費を中心に3億5千万円の経費節減を進め、経常収支比率を85%にする考えのようです。しかし、県でも蟹田町でも5年計画となっており、18年度までに85%にもっていくという考えは性急すぎるのではないかと。実効性のある計画にするためには時間が必要としますが、町長の所見を伺います。

経常収支比率が90%を超えた段階で、県より財政運



▲ 町村合併についての研修会に参加した東郡町村議会議員



# 12月定例会できまつたこと 11月25日～28日

第345回、12月定例会は11月25日召集され、会期を28日までとし、26日休会、27日一般質問、28日は各会計補正予算等15議案が原案どおり可決され閉会しました。

## 条例関係

●今別町職員の給与に関する条例の一部改正

●今別町特別職の給与条例の一部改正

●今別町教育委員会教育長の給与、勤務時間等に関する条例の一部改正

●今別町特別職の給与条例の一部改正

●今別町教育委員会教育長の給与、勤務時間等に関する条例の一部改正

●今別町特別職の給与条例の一部改正

●今別町特別職の給与条例の一部改正

●今別町特別職の給与条例の一部改正

●今別町特別職の給与条例の一部改正

## 減額

●特別災害による被害者に対する町税減免の特別措置に関する条例の一部改正

●農作物等異常気象災害に伴う被害者に対し、町税の減免措置を講ずるためのもの

●今別町立小学校及び中学校設置条例の一部改正

●今別町立大川平小学校が平成16年4月1日に今別小学校に統合するため学校の設置条例を改正するためのもの

●今別町消防団条例の一部改正

●今別町消防団条例の一部改正

●今別町消防団条例の一部改正

●今別町消防団条例の一部改正

●今別町消防団条例の一部改正

## 一般会計補正

●歳入歳出からそれぞれ、447万9千円を減額し、予算総額28億6,448万5千円とした。

●歳入の主なものとして特別交付税を見込みにより、1,160万円減額、ため池等整備事業債を事業量の減少により950万円減額、漁港整備事業債も事業量の減少により160万円減額した。

●歳出については、給与条例の改正に伴う人件費についてそれぞれ必要経費を調整、巡回バス運転手賃金188万4千円、身体障害者指定施設支援費109万3千円を補正計上、介護保険事業特別会計繰入金331万3千円減額、かんがい排水事業工事費422万円減額、消火栓標識設置

●国民健康保険事業勘定特別会計補正

●国民健康保険事業勘定特別会計補正

●国民健康保険事業勘定特別会計補正

●国民健康保険事業勘定特別会計補正

●国民健康保険事業勘定特別会計補正

●国民健康保険事業勘定特別会計補正

## 工事費を削減し、第4分団車庫増築工事費に110万円予算組替え、奨学貸付金を実績により320万3千円減額、縁故債の繰上げ償還1,346万6千円補正計上、償還金利子を見込みにより297万9千円減額

●国民健康保険事業勘定特別会計補正

●国民健康保険事業勘定特別会計補正

●国民健康保険事業勘定特別会計補正

●国民健康保険事業勘定特別会計補正

●国民健康保険事業勘定特別会計補正

●国民健康保険事業勘定特別会計補正

●国民健康保険事業勘定特別会計補正

●国民健康保険事業勘定特別会計補正

●国民健康保険事業勘定特別会計補正

## 専決・その他

●一般会計補正(専決) 歳入歳出からそれぞれ450万円を増額し、予算総額28億8,896万4千円とした。

●老人保健特別会計補正 歳入歳出にそれぞれ1,160万1千円を増額し、予算総額5億9,909万2千円とした。

●老人保健特別会計補正 歳入として、医療費交付金2,788万円を補正計上、医療費国庫負担金2,107万を減額、一般会計繰入金472万7千円を補正計上

●老人保健特別会計補正 歳出として、医療費支給費として1,134万5千円を補正計上した。

●老人保健特別会計補正 歳出として、医療費支給費として1,134万5千円を補正計上した。

●老人保健特別会計補正 歳出として、医療費支給費として1,134万5千円を補正計上した。

●老人保健特別会計補正 歳出として、医療費支給費として1,134万5千円を補正計上した。

●老人保健特別会計補正 歳出として、医療費支給費として1,134万5千円を補正計上した。

●老人保健特別会計補正 歳出として、医療費支給費として1,134万5千円を補正計上した。

●老人保健特別会計補正 歳出として、医療費支給費として1,134万5千円を補正計上した。

## 予算関係

●今別町特別職の給与条例の一部改正

人件費の減額、その他の経費について、事業の進捗状況により、所要の額を調整